データから子どもの貧困へ向き合う

「子どもの貧困調査研究コンソーシアム」の試み

DETAILS

時間 18:30-20:00
日程 12月 20日 (月)
会場 Zoomを使用します
言語 日本語

SPEAKERS

阿部 彩
東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 教授
兼 子ども・若者貧困研究センター長

川口 遼
東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター
特任助教

Moderator

黒河 昭雄
JST-RISTEX SciREXプログラム
研究推進委員

参加登録はこちら
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_V-rYryTpSRKJ8wa7G6GTXw

SciREX Seminar #39

現在の日本では、18歳未満の子どものうち7人に1人が相対的貧困にあると言われています。これはOECD 加盟国の中でも最悪の数字です。ここ10年程で子どもを支援するための就学援助、子ども食堂、学習支援といった活動が報道される機会も増え、子どもの貧困が深刻な社会問題であるとの認識が広まりつつあります。

その実態がどのようなものか、各自治体で調査が義務付けられているものの、その結果が必ずしも有効な対策や政策作りへ生かされてきたわけではありません。調査結果を分析し、他の自治体と比較検討した上で適切な政策を実施することを阻む壁がいくつも存在します。

今回のセミナーでは自治体に眠っている調査データを発掘し、実際の政策提言を通じて自治体への還元を試みている、「子どもの貧困対策のための自治体調査オープンデータ化手法の研究」プロジェクトを取り上げます。研究プロジェクトでは東京都立大学を中心とした6大学からなる調査研究コンソーシアムを立ち上げ、コンソーシアムと自治体との間でデータの活用協定を結び活動を進めてきました。データの提供を受けるところまで漕ぎ着けても、自治体ごとに調査項目が異なるといった更なる課題も存在します。子どもの貧困に関するオープンデータ化の取り組みを進める中で見えてきた現状や今後の課題をご紹介します。

セミナーの後半では参加者の方からの質問やご意見をを踏まえたディスカッションを予定しております。ぜひご参加ください。

参考リンク；子ども・若者貧困研究センター
https://www.tmu-beyond.tokyo/child-and-adolescent-poverty/

お問い合わせ
政策研究大学院大学（GRIPS）
科学技術イノベーション政策研究センター
scirex-center@grips.ac.jp

SciREX Center　文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

SPEAKERS and MODERATOR

阿部 彩
東京都立大学　人文社会学部人間社会学科　教授
兼　子ども・若者貧困研究センター長

海外経済協力基金、国立社会保障・人口問題研究所を経て、2015年より首都大学東京（現東京都立大学）人文社会学部人間社会学科教授。同年に子ども・若者貧困研究センターを立ち上げる。専門は、貧困、社会的排除、公的扶助。著書に、『子どもの貧困』『子どもの貧困II』（岩波書店）、『子どもの貧困と食格差』（共著、大月書店）など。『生活保護の経済分析』（共著、東京大学出版会）にて第51回日経・経済図書文化賞を受賞。

川口 遼
東京都立大学
子ども・若者貧困研究センター特任助教

一橋大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。専門はジェンダー・セクシュアリティ研究。家族・労働・福祉の社会学。共著に『私たちの「戦う姫、働く少女」』（堀之内出版）、共訳に『魂を統治する－私的な自己の形成』（ニコラス・ローズ著、以文社）。

黒河 昭雄
JST-RISTEX SciREXプログラム研究推進委員

東京大学公共政策大学院修了。東京大学政策ビジョン研究センター、明治大学国際総合研究所等にて医療政策、医療イノベーション政策に関する調査研究に従事したのち、2016年8月からJST-RISTEXにてアソシエイト・フェローとして科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」プログラムを担当。その後2019年4月からは、神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センターにて研究員（シニアマネージャー）を務める。
そのほか政策研究大学院大学客員研究員等として活動。神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科、成城大学社会イノベーション学部、早稲田大学ビジネススクールなどで非常勤講師も務める。